

果樹情報

No 7

R5.8.14

後志農業改良普及センター北後志支所

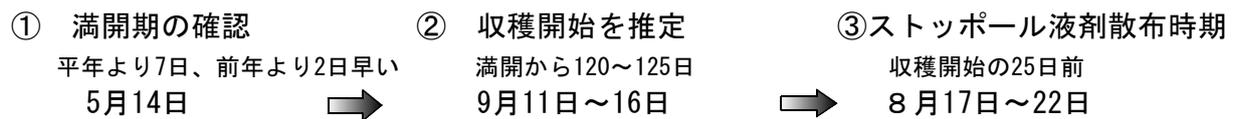
- 台風接近中！！風害防止対策は万全に！
- 果実肥大は良好です
- カメムシ類、シンクイムシ類の被害果が見られています
- 仕上げ摘果を急ぎましょう
- 農薬散布は収穫前日数、総使用回数、希釈倍率を確認し防除間隔に注意しましょう

りんご

- ・ 果実肥大は順調で平年を上回っています。
果実肥大（体積cm³）

品種	つがる			ふじ		
	7月1日	15日	8月1日	7月1日	15日	8月1日
R5	42.5	79.5	141.5	37.6	66.6	118.0
平年比	160%	134%	118%	161%	157%	140%

- ・ つがる落果防止剤の散布 ストッポール液剤の散布は **8月20～25日頃**と推定！
落果防止剤の考え方（作況ほでの例）



農薬名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用回数	注意点
ストッポール液剤	1,000～1,500倍	300～600ℓ /10a	収穫開始予定日の25日～7日前（ただし、2回散布の場合は10日程度間隔をあげる）	2回以内	○他剤との混用は避ける。 ○葉から吸収されるため、散布後4日くらいまで葉摘みを行わない。 ○成熟促進作用がある。 ○展着剤不要
ヒオモン水溶剤	1,000～2,000倍	300～600ℓ /10a	収穫開始予定の21～4日前	2回以内	○果面からも吸収されるので、散布翌日の葉摘みでも問題ない。 ○展着剤不要

- ・ 腐らん病は見つけ次第適切に処分しましょう。
- ・ 徒長枝の整理を行い、樹冠内に十分日光が入るようにしましょう。
但し、高温が続くと予想される場合は作業を控えましょう。
- ・ 黒星病の被害葉や被害果は見つけ次第摘み取りましょう。

おうとう

- ・収穫が終わった園地では、速やかに被覆資材を外しましょう。
- ・礼肥を施用しましょう。N成分で年間施用量の30%程度です。
着果量が多かった樹はやや多めに、少なかった樹は少なめにします。
- ・葉を健全に保つためには収穫が終わっても防除は必要です。
特にハダニ類の発生、もぎ残しに注意しましょう。

なし

- ・黒点病の果実病斑が見えてくる頃です。今後も十分な防除対策をとりましょう。
- ・モモシンクイガの発生状況を確認しながら防除間隔に注意してください。
- ・満開期が前年より5日程度早いので、収穫時期を逸さないようにしましょう。

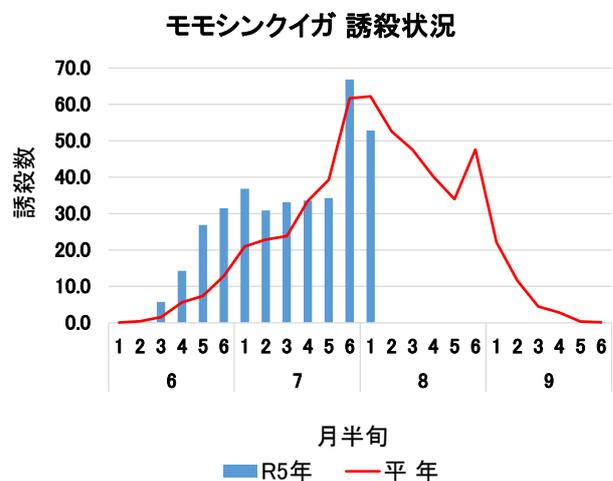
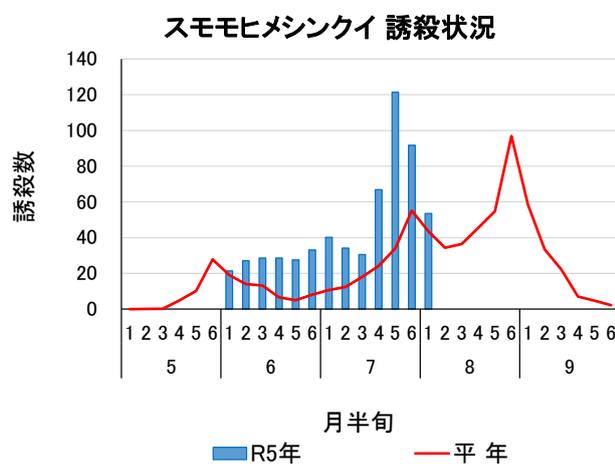
ぶどう

- ・ハウスぶどうの収穫は果実温度が低い時間帯に行い、果紛が落ちないように丁寧に扱きましょう。シャインマスカットは新梢管理を徹底しましょう。
- ・露地ぶどう、醸造用ぶどうは新梢管理、除草管理、病害虫防除を徹底しましょう。
- ・灰色かび病、べと病、晩腐病、コガネムシ類、サビダニの発生に注意しましょう。

プルーン

- ・着色、果実の弾力、糖度、食味を確認してから始めましょう。
- ・収穫は果実温度が低い時間帯に行い、果紛が落ちないように丁寧に扱きましょう。
- ・シンクイムシ類、ハダニ類、灰星病の発生に注意しましょう。

予察情報



スモモヒメシンクイ、モモシンクイガの発生状況は普及センターのHP又はJAの選果場掲示板で確認出来ます。

ストップ農作業事故！！

- まだ暑い日が続くようです！
- 水分補給や休憩を取って「熱中症」対策を！！！！